

三つ峠山行報告書（スノーハイキング）

(山域) 三つ峠

(コース) 三つ峠登山口～木無山～開運山～御巢鷹山～大幡山～清八林道～三つ峠登山口

(日時) 2月21日(土曜日)

(天候) 快晴(富士山絶景)

(参加者) CL: 内堀(記録)・澤田路子・高地・岸野

(山行タイム) 三つ峠登山口 9:50～木無山 11:35～開運山 12:10～御巢鷹山 13:10～
大幡山 14:20～清八林道入口 14:50～三つ峠駐車場 15:50

(山行報告)

5:45頃千葉駅北口にて、高地・岸野さんを拾い、京成津田沼駅にて澤田路子さんと待合せ予定でしたが、一向に来る気配なし。電話も繋がらない・留守番電話サービスに繋がりに成すすべ無し。ようやく電話がつながり今起きたとの事。待ち合わせ場所を津田沼駅側の池田病院に向かう。澤田さんを拾い首都高速・中央道から河口湖線に入り河口湖IC到着。途中コンビニに立寄り行動食を購入。137号線(河口湖～甲府)に入り、峠の茶屋を過ぎトンネルの手前で右折して、天下茶屋に向かう道路に入る。日陰は道路にも雪があり慎重に運転する。

三つ峠バス停に到着ここに5～6台程度駐車しているため、この場所に駐車をする。

身支度準備を済ませ出発、林道を更に上がると駐車場発見、正式にはここが駐車場の様である。

林道坂道でタクシーが雪の影響で脱出出来ず手伝いようやく、林道を下ることが出来た。

この道を上るには少し危険が付きものであり、下で駐車したことは正解かも知れない。

林道を更に登り続けると地図でも出ていたベンチ発見。休憩タイムに入る。

空は青空の快晴、木と木の間からは南アルプスの甲斐駒・鳳凰三山・白根三山が良く見える。

休憩を終了し、更に歩き続けると三つ峠山荘に到着、そこから見える富士山はとて大きく雄大である。こんなに近く見える富士山は久々である。



その先に何人の人たちがカメラを下側に向けている。カモシカがここに来ているとの事。木無山方面に少し向かい、カモシカの写真を上手くゲット出来た。

木無山に到着表示板を確認し皆で集合写真に収めた。何もないので速攻で開運山に向かう、途中、三つ峠山荘側からすこし急な登りがあり、ようやく頂上に到着した。

三つ峠とは、開運山・木無山・御巢鷹山の三山を総称した名称であるが、現在はここ開運山が三つ峠山として言われている。ここの山頂の景色は絶景であり、富士山・南アルプス・八ヶ岳が見え、秩父の甲武信岳・大菩薩がドーン鎮座していた。

昼食タイムに入り、ゆっくりとした時間が過ぎ、休憩終了に合わせて軽アイゼンを装着する。

20分程度で御巢鷹山に到着したが、目印が無くNHK電波塔のみが大きく居座っていた。

写真に何枚か収め、下山を開始した。ここからの下山は急坂を駆け下りるようにアツという間

にコルに到着、登り下りを繰り返しながら、茶臼山を經由して大幡山に到着、ここで最後の記念撮影。ここから見える本社ヶ丸山が目の前である。ちば山に入って直ぐに行った山行を思い出す。更に進むと大幡八丁峠に到着した。ここより林道歩きであるが、あまり歩いていないせいかトレースが薄い。トレースの後に雪が積もったようである。埋まりそうである。嫌だな。ここはちば山女性人の力を借り、全面に前に出て頂き、突き進む。澤田路子さんは一人旅だな。林道を折り返し少し進むとゲート発見、朝見た駐車場発見。無事生還しました。車に戻り、荷を卸し帰り支度を済ませ車を走らせ、温泉に向かうが、中々良い場所が見つからない。30分程度ウロウロして、河口湖IC側の溶岩の湯 泉水にて汗を流した。帰りは石川PAまで一気に進み、夕食を取り津田沼・千葉駅を經由して帰宅した。冬の間は中央道は空いている。

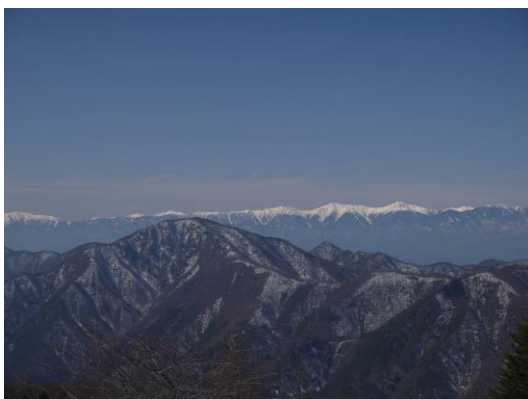
(木無山) (三つ峠山荘からの開運山)



(開運山から南アルプス眺望)



(開運山からの富士山)



(御巢鷹山テレビ塔)



(大幡山山頂)



以上